

「第6次基山町総合計画 基本構想」(案) ～現状と課題～

町民アンケート

◇基山町は『住みにくい』2.2%に対し、『住みやすい』が 83.1%
◇『町外へ移りたい』6.0%に対し、『住み続けたい』が 82.3%
◇町の取組の満足度(平均 2.74)では、最も低い「商業」2.25をはじめ、「観光」2.49、「農林業」2.58、「工業」2.60 の産業関係がいずれも平均以下
◇町の取組の重要度(平均 3.10)では、最も高い「子育て支援」3.42をはじめ、「健康・医療」3.34、「学校教育」3.32、「高齢者支援」3.30 などの健康・福祉・教育関係が上位(産業関係では「商業」のみが重要度として平均を上回る 3.16)
◇今後、力を入れるべきまちづくり分野は、「保健・医療」25.5%、「福祉」23.9%、「商業」18.4%の順(40 歳代以下では「教育」が 30%以上でトップ)
◇まちづくりを進める上で重視して欲しいことは、「暮らしやすさ」75.3%、「便利さ」51.7%、「やすらぎ」23.4%の順

中高生アンケート

◇居住地は「基山町内」57.2%、「町外」が 42.7%
◇基山町は『住みにくい』11.1%に対し、『住みやすい』が 60.8%(「基山町内」居住者では 80.6%)
◇基山町が将来どのようなまちになって欲しいかについては、「自然に囲まれ、景観の美しいまち」57.5%、「災害や犯罪のない安全・安心なまち」46.4%、「子どもも高齢者も、だれもがいつまでも安心して暮らせるやすらぎと健康のまち」41.7%、「働く場所も多く、さまざまな商店がそろったにぎわいのあるまち」40.0%の順

職員アンケート

◇基山町の魅力としては、「立地・交通の利便性」、「豊かな自然」、「住環境・利便性」が上位
◇弱みとしては、「商業・娯楽施設」、「移動手段・交通の便」、「コミュニティ・町民気質」が上位
◇人口政策については、「現状程度の人口規模を今後も維持できるような取組を進めるべき」が 52.4%でトップ
◇力を入れるべきまちづくり分野は、「教育」30.5%、「商業」28.3%、「福祉」24.6%の順
◇まちづくりを進める上で重視すべきことは、「暮らしやすさ」80.7%、「便利さ」39.6%、「やすらぎ」33.2%の順

団体ヒアリング

◇まちづくりの方向性として、プラチナ世代がいつまでも活躍できる地域、自然と調和した町、子育て世帯や移住してきた世帯など、若い人にも住みやすい町などの意見が多い

町長インタビュー

◇人口構造では、今の70～75歳の方が孤立することのないような活躍の場や居場所が重要
◇町では「シルバー」の代替語として「プラチナ」を使用
◇キーワードとしては、「子育て支援」「高齢者」「移住・定住」「産業振興」で、この4つをベースに、さらに「カーボンニュートラル」の件も関連付けたい
◇高齢者と子どもたちの両方が、相互啓発できる町

住民ワークショップ

【将来像のキーワード】

○自然 ○明るい ○突き出ている ○便利 ○輝く ○笑顔
○安心・安全 ○子育てしやすい ○アクセス ○暮らしやすい ○集う
○育てる ○キングダム ○やすらぎ ○つながり
○日本一 ○穴場 ○発見 ○何もない ○ちょうど良い ○プラチナ世帯
○基山(きざん) ○基肄城 ○未来 ○はぐくむ ○歴史 ○田園
○利便性 ○県境 ○好き ○佐賀の端 ○No.1 ○地産地消 ○すみよい
○わくわくドキドキ ○わかちあう ○Challenge ○多世代共創

【将来像】

●暮らしに突き出る基山
●一生優しい ちょうどいい自然都市 基山
●緑豊かで集う・つながる 住みたい街 基山
●子ども世帯からプラチナ世帯まで みんなにやさしい自然のまち きやま～佐賀の端から目指せオンリーワン～
●がっば 住みやすい 自然都市
●子育て世帯から一生やさしい自然都市 基山

町外アンケート

◇基山町の認知度は 75.2%、訪問経験者は 22.1%
◇基山町のイメージとして、高評価は「自然環境の豊かさ・美しさ」、低評価は「働く場所の豊富さ」
◇基山町訪問経験者にとって、訪問先としての基山町の魅力は「基山町への交通アクセス(道路・高速道路)」が 57.9%、移住先としての魅力は「自然環境の豊かさ」が 48.4%、「家賃や物価の安さ」が 32.5%、移住先として不足している魅力は「働く場所の豊富さ」28.2%、「買い物のしやすさ」23.8%

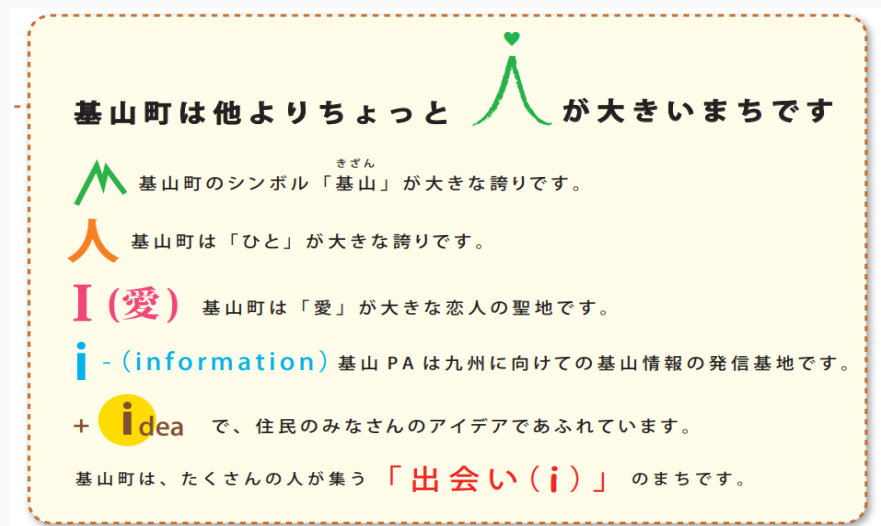
第5次基山町総合計画の将来像

アイが大きい基山町
～住む人にも訪れる人にも満足度 No.1 のまち基山の実現～



基山町は、昔ながらのあたたかい地域性の残るまちです。基山町で暮らすステイタスは、基山町という大家族のもとで、心豊かに暮らせること。生まれたての赤ちゃんから豊かな余暇を送る高齢者まで、すべての人々が心を通わせ合うことのできるまちをめざします。また、基山町に訪れた人たちにも、心を込めたおもてなしをつくり、住む人にも訪れる人にも満足度 No.1 のまち基山を実現していきます。そのためにも、基山町に暮らす人々が誇りをもち、訪れる人を引きつけるシティプロモーションによってまちを総合的にプロデュースしていきます。

◇これからの基山町は、基山の誇りである「アイ」を大切に、住む人にも訪れる人にも満足度 No.1 のまち基山をめざします。



各種アンケートや住民ワークショップ等の結果からみる主な課題

【主な問題解決型課題】

◇買い物の場、にぎわいづくりとしての商業振興
◇働く場としての産業振興 ◇町内の移動手段の確保

【主な未来実現型課題】

◇現状の暮らしやすい環境(ちょうどいい)の維持・持続
◇子ども(子育て世代)、プラチナ世代(特に 75 歳以上)にとっての魅力創出

シン アイが大きい基山町

～多世代共創による“ちょうどいい”まち基山～

基山町はこれまで、「他よりちょっと ^{アイ}人 が大きいまち」として、住む人にも訪れる人にも満足度No.1のまちを目指して、様々な取組を進めてきました。これからの **新**しい 10 年間に向けて、基山町の誇りである「アイ」を大切にしながら、これまでの取組を **深**化させ、住民同士が **心**を通わせ合いながら豊かな暮らしを送り、訪れた人に **親**しまれ、まちの **賑**わいを創出することで、**真**に「アイが大きい基山町」を目指し、**確信**をもって取組を **進**めていく、そのような思いを込めて、めざす将来像を『 **シン**・アイが大きい基山町』とします。

また、“ちょうどいい”まちとは、基山町の豊かな自然と利便性を兼ね備えたほどよく田舎の環境を生かしながら、引き続き、住む人にも訪れる人にも満足度 No.1のまちを目指すことで、だれにとっても心地の良い、バランスの取れたまちであることを表しています。この実現に向けて、従来行ってきた住民、各種団体、企業等と行政による“協働”の取組の推進だけではなく、基山町の未来を担う子どもたち、若い力を育むための子育て世代への支援のほか、高齢者、いわゆるプラチナ世代がこれまで培った経験を生かし活躍できる場を創出するなど、誰もが生涯にわたって活躍できる取組を支援することで、子どもや子育て世代、プラチナ世代といった各世代が個々に輝き、それぞれの交流により新たな価値を生み出す“多世代共創”によるまちづくりの推進を目指します。

基山町は他よりちょっと  が大きいまちです

 ^{きざん} 基山町のシンボル「基山」が大きな誇りです。

 基山町は「ひと」が大きな誇りです。

I (愛) 基山町は「愛」が大きな恋人の聖地です。

i - (information) 基山 PA は九州に向けての基山情報の発信基地です。

+ **idea** で、住民のみなさんのアイデアであふれています。

基山町は、たくさんの人が集う「**出会い(i)**」のまちです。

第6次基山町総合計画 施策体系(案)

基本政策と方向性	まちづくり分野
はぐくみ 基山町を愛し、夢を実現できる人を育てる まちづくり	子育て支援
	学校教育
	歴史
	社会教育
やすらぎ 誰もが安心して健やかに暮らせる まちづくり	高齢者支援
	障がい者(児)支援
	健康・医療
	人権・男女共同参画
	防犯・防災
にぎわい 多様な地域資源を生かす まちづくり	協働
	農林業
	商業
	工業
	観光
うるおい 快適な生活基盤をととのえる まちづくり	土地利用
	まちなみ環境
	情報
	まちの運営